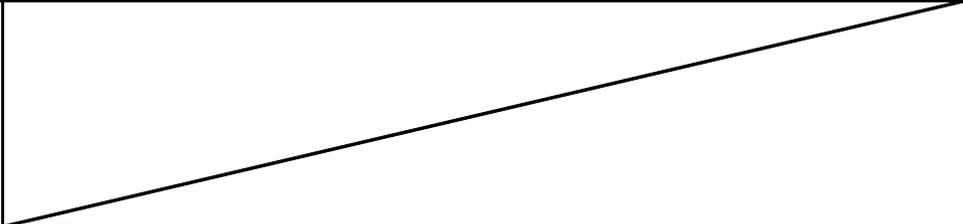


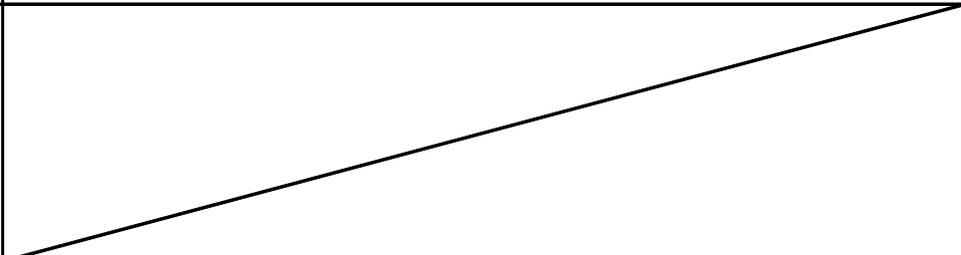
### 市長と語る会(H29. 3. 6市役所北庁舎)における意見及び市長の回答

No	意見	回答
1	<p>災害時のことだが、近くに中学校があり、実際に避難場所になったときに、広さや収容人数、非常食がどれだけあるのか、受け入れ態勢はどうなるのか、名簿はどうするのかといった具体的な対応手順について知らないことが多い。</p>	<p>災害が発生したときには、学校の体育館が避難生活を送るところになるという指定をしているが、学校の校庭や体育館も含め、一時皆さんが集まってくる場所であると指定をしている。しかしこれは学校が全てではなく、近所に公園があればその公園をご近所同士が集まる場所と話し合いで決めておくのもよいと思う。自治会によっては避難所を開設するのにどのようにしようかという話し合いをされているところもあるが、全体的にどのように考えていくのか、改めて皆さんに対して災害時の対応や心構えについて、きちんとお話をしなくてはいけないと思う。</p>
2	<p>先日、市から依頼された災害の情報キットを配布したが、その中に支援者を探してほしいという要求が随分あった。見守る方がいない方が結構いる。災害時にその方々を誰が一体見守るのだろうかと思う。隣近所がしっかり連携がとれていればいいが、民生委員が配った責任上ある程度見守るといようなことも考えなければならぬ。行政もどうしていくのか方向性を示してもらえるとよい。</p>	<p>皆さんに配布しているが、実際の災害時にどうしたらいいかという具体的な説明が乏しかったかもしれない。災害の状況によって必ずこうだとは言いきれないが、ある程度の想定の中でどう行動するかというのはお話しできるようにしたいと思う。 (高齢者支援課回答) 支援者探しについては、自治会に加入されている方は自治会にお願いして支援者が見つかるという場合も多いが、自治会に入っていない方は、難しい現状が制度開始当初より続いている。検討をすすめてまいりたい。</p>
3	<p>民生委員の活動は自治会や町会、市役所、社会福祉協議会、包括支援センターなどとの連携を考え、自分ひとりで考えずに、適切な場所、団体につなぐことにしている。様々な専門家の方がいるので、そこにつないでやっていくことが一番いいと思う。災害時の関係は、以前から自治会、町会と市が協定を交わしていると思う。</p>	
4	<p>市内の公園でボールで遊べる場所が少ないように思う。これから先はどんなことになるのか。</p>	<p>ボールを蹴る音が気になるとか、ボールが家の中に飛び込んでくる心配があるなどでだんだん遊べる公園が少なくなっている。ボールで遊びたい子どものために、何とかしたいと思うが、先日もボールで遊べる公園で、遊んでいたボールがある家の敷地に入り、そのお宅は子どものことだから仕方がないと思っていたとのことだが、子どもがボールをとり謝りに来なくなってしまった。学校に話したところ、公園でボール遊びをしないという話になったということで、謝りにいけない子どもがいることで残念に感じた。決して全部の公園のボール使用を禁止にしようと思っているわけではなく、地域の中で使っている公園を1つでも多くしたいと思う。</p>

### 市長と語る会(H29. 3. 6市役所北庁舎)における意見及び市長の回答

No	意見	回答
5	公園の遊具も少なくなっている。けがをしたときに、その遊具は危ないとして撤去してしまうことがあり、楽しかった公園がつまらない公園になっていく気がしている。同年代の子どもたちが昔はよく遊んでいたが、公園で遊んでいるのを見かけなくなって、ただ公園があるだけになっているような気がする。	遊具についてはもっと充実したらどうだろうかというご意見をいただくことがある。老朽化したことで遊具を撤去し、そのままになってしまうケースが多い。公園の遊具については適切に見直し、新しいものを導入することも消極的にならずに行う必要があるのではと思う。
6	生活保護制度では、医療費をゼロにするというのはよくないと思う。バスの補助も、それがあからバスに乗り、歩かなくなる。自分の力をもう少し使わないといけない。福祉は大切だが、逆の考えをするときに来ているのではないかと思う。	私の立場で言えることの範囲は限られているが、困っている人には手を差し伸べなければいけない。手を差し伸べたら自分でできることは行い、自立に向かっていってほしいと民生委員の皆さんは温かい心で見守っている。様々なご意見をいただくことがあるが、本市だけが特別なサービスをしているということではなく、国全体の制度として進めている。
7	地域で高齢者が多くなっているが、訪問するとかたくなに「私は大丈夫です」という方もいて、本当に援助が必要なきにどこまで私たちが入っていいのか、どこまで見守っていったらいいのか民生委員として悩むことがある。	どこまでというのは非常に難しい。いろいろやってあげたいが入りようがない。それでも何かやってあげたいと使命感を感じる方もいるでしょうし、一方で距離をおいて、見守るという態度でいいのではないかというご意見もある。お話伺っていると、周りの方々が様々な相談をして、民生委員が間に存在していることで知らないうちに、その地域のコミュニティができてくるということもある。
8	民生委員としての担当地域というのは広く、なかなか情報が入ってこないが、包括支援センターや社会福祉協議会との意見交換は重要と思う。自治会や町会、老人クラブ、婦人会と連携して、地域で見守っていくことが必要だ。	
9	地域包括支援センターは日頃からよくやっていただいているが、余り知られていなかったり、誤った印象をお持ちの方が結構多いのではないかと思う。	今後の福祉の拠点づくりを進めていかなければいけないと思っており、様々なご意見も踏まえながら、構築していかなければいけないと思う。

### 市長と語る会(H29. 3. 6市役所北庁舎)における意見及び市長の回答

No	意見	回答
10	<p>介護予防と健康寿命の関係だが、今は高齢の方でも元気な方が結構いる、その健康寿命をいかに延ばしていくかというのが民生委員の活動にも関係してくると思う。市のほうとしてもそこら辺の施策をちょっと伺えたらという希望がある。</p> <p>例えば福祉とスポーツをうまく融合させた、そんな取組がもっと広がっていったらいいと思う。高齢者や福祉関係のスポーツ大会など健康を主体として考え、うまくつなぎ合わせていけば健康寿命も延びていくのではないかと思う。</p>	<p>健康で過ごすことも人生の豊かさには大切で、介護予防のため、健康寿命を延ばすため、ご指摘のとおり様々な取組を考えなくてはならないと思う。</p>
11	<p>健康に関するイベントや集まりが様々あるが、高齢者からは、本当は行きたくても場所が遠い、各地域にある会館でできないかという話をよく聞くので、地域で健康体操の自主グループをつくり活動している。そういう活動から、地域の活性化ができればいいと思っている。</p>	
12	<p>民生委員の活動について、市独自でマニュアルを作成したものがあるのかを聞きたい。相談された場合のQ&amp;Aや、どういう場合にどこに連絡したらいいのかわかるものがあるのか。</p>	<p>(地域福祉推進課回答)</p> <p>新任の方には民生委員のガイドをお渡ししているが、民生委員の仕事は多種多様にかかわっており、具体的な内容を冊子にしたマニュアルはない。マニュアルができれば活動しやすいというご意見もいただくので、検討していきたい。</p>
13	<p>市として企業との連携、民生委員と企業との関連はどのように考えているか。子ども緊急避難の家というのがあるが、高齢者保護の観点から見て、高齢者が何か途方に暮れていたり、緊急時に、企業に協力を依頼することがあるのか。また、高齢者のひとり暮らしで、緊急事態ということを知らせるための仕組みがあるのか。</p>	<p>企業や商店との連携では、市内のコンビニエンスストアの一部35店舗で高齢者の見守りなどで市と連携がとれるように包括協定を結んでいる。</p> <p>(高齢者福祉課回答)</p> <p>緊急時に連絡する手段として、市では緊急通報システムがあり、65歳以上のひとり暮らしの方や75歳以上のみの世帯の方に機械を貸与し、何かあったときにそれを押すことで民間の受信センターにつながり、そこから消防車や救急車を手配するという仕組みがある。</p>

## 市長と語る会(H29. 3. 6市役所北庁舎)における意見及び市長の回答

No	意見	回答
14	<p>祖父母と同居している家庭は、高齢になるとどうしても歩くのが遅かったり、忘れっぽいなどが実体験としてわかるが、今は核家族化が進み、高齢者と触れ合っていない子どもたちも多いので、小さいころから触れ合える教育があればいいと思う。介護に関することも体験するなかで理解を深めていくことができると思う。また、障害のある方への理解を深めたいと思いユニバーサル検定を受講し、障害者による講演を聞いたが、学校教育でも実際にお話を聞く機会がもっとあればと思う。</p>	<p>実際に体験してよくわかるということはある。市内には22の小学校全てにコミュニティ・スクールとして、地域の力を借り学校を開いて、いろいろな方からのアドバイスやご協力をいただいて、カリキュラムを編成することを数年前から行っている。地域コミュニティの力をいただいて、コミュニティ・スクールとして何らかの形でカリキュラムを編成することはできるのではと思う。</p>